

平成28年度 政策・実務研修
『地域産業のイノベーション』

研修報告書

研修日時 平成29年1月16日～1月18日

場所 全国市町村国際文化研修所（JIAM）

主 催 財団法人 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所

報告者 高瀬 洋

講義内容

【1月16日】

「イノベーションとは何か」

明治大学 法学部 教授 阪井 和男 氏

- 1) はじめに
- 2) 理性と直感の使い方
- 3) 誰が生むのか？
- 4) どこから生まれるのか？
- 5) イノベーションの性質

「これからの地域産業のイノベーション」

株式会社 日本政策銀行 技術事業化支援センター長 島 裕 氏

- 1) 新事業創出の論点
- 2) 地域と企業の共創による価値創造
- 3) 求められるイノベティブな思考

【1月17日】

「地域の強みと企業の発展」 ～ニッチ戦略の観点から～

株式会社 三菱総合研究所 科学・安全事業本部

産業イノベーション戦略グループ 主席研究員 吉村 哲哉 氏

- 1) 注目されるグローバル・ニッチ型企业
- 2) グローバル・ニッチ型企业が求められる背景
- 3) 先行するドイツのモデル
- 4) 従来「ニッチ戦略」を超えた GET 企業モデル
- 5) グローバル・ニッチへの道 ①従来モデル
- 6) 「顧客ニッチ」と「技術ニッチ」
- 7) グローバル・ニッチへの道 ②今後
- 8) 支援のあり方

(事例紹介) 「自治体と取り組むイノベーションに向けて」

株式会社 電通 電通総研 ダイバーシティ・ラボ事務局長 伊藤 義博 氏

- 1) ダイバーシティって何のこと？
- 2) いま自治体がダイバーシティに取り組むべき視点
- 3) 広告的アプローチ
- 4) 具体的取り組みのヒント

(事例紹介) 「地域産業のイノベーションに向けての取り組み」

大日本印刷株式会社 ABセンター コミュニケーション開発本部

クールジャパン推進室 室長 丹羽 裕 氏

メディア開発ユニット ユニット長 室田 秀樹 氏

【1月17日、18日】

(演習・発表)

大日本印刷株式会社 ABセンター コミュニケーション開発本部

クールジャパン推進室 室長 丹羽 裕 氏

メディア開発ユニット ユニット長 室田 秀樹 氏

株式会社 販促ファクトリー 代表 西川 誠也 氏

関西学院大学経営戦略研究科 教授 松藤 保孝 氏

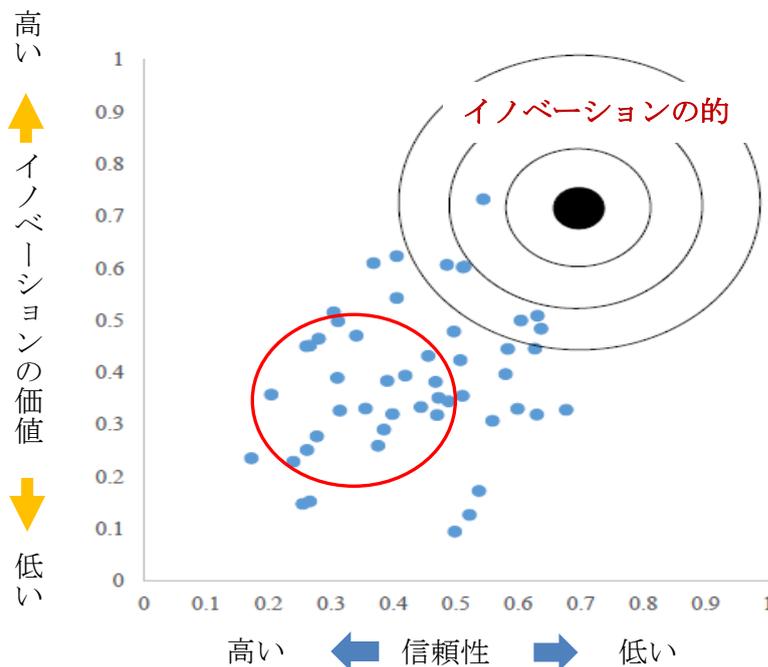
平成 28 年度 政策・実務研修
『地域産業のイノベーション』を受講した所感

高瀬 洋

イノベーションというのは、日本語では「革新」と訳されています。昔ではウォークマン、最近ではスマートフォンのように、イノベーションにより生み出されたサービスや商品は、それまでの世の中の常識を覆し、人々の行動様式にも影響を及ぼすものと考えてよいと思います。例えば、スマートフォンの普及により通勤電車で新聞を広げるサラリーマンは殆ど見かけなくなりましたし、旅行するのにガイドブックや時刻表を持ち歩かなくても、スマートフォンさえ持っていれば電車に乗っている間にホテルの予約や観光スポットの検討まで全て可能になりました。

イノベーションの発想というのは、時間をかけて一生懸命考えても出てくるものではなく、ある時ふと気づいたりすることから生まれてくるものだと思います。約 20

年前、まだ電話しかできなかった大きな携帯電話を使っていて、今のような製品があればよいなあと私も思いましたが、実現すると予想した者はごく少数であったと思います。



さて、本題の「地域産業のイノベーション」に話を戻しますが、左の図は、地域の産業について、市民のアイデアやニーズを青●でプロットした例です。赤で囲った領域のような多くの市民の意見を反映したイノベーションは、市民に受

け入れられ易いと思いますが、既に他市でやっていたりして、事業としての信頼性は高くても、イノベーションとしての価値は低いと考えられます。信頼性では多少劣っていても**的**で**囲った領域の事業**にチャレンジすることが大切です。私は以前、一般質問で市民のニーズを政策に反映するのは当然だけれど、シーズ志向（こうあるべきというような、行政側からの提案）をもっと取り入れるべきではないかと提案したことがあります。過度に市民との合意を重要視するところにはイノベーションは生まれてこないのではないかと思います。これは、市民の意見を軽視しても良いということではなくて、10の政策があれば、そのうちの1つ有るかないかのイノベーション的な政策立案のことを言っています。また、議会は議案を出すことや条例をつくることもできるので、当然、シーズを発信していかないといけない立場と思います。

議会報告会は、一昨年から町ごとに開催することになり、それまでより多くの市民の皆様に参加していただけるようになりました。また、グループワークをしているので、毎回多くのご意見等を議会にいただけるようになりましたが、これらをイノベーションに繋げていくためには、その中から光る意見を見極め政策に反映していく能力が求められます。議員とは、そういう責任を背負っているのだという自覚を持ち、日々努力していこうと思います。

以上